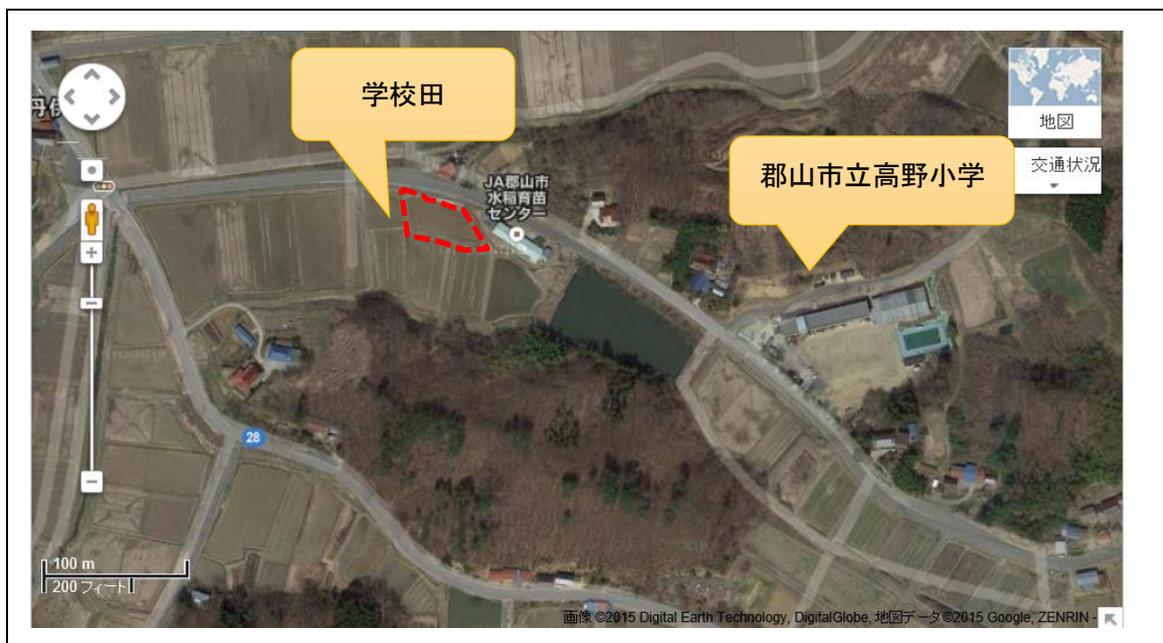


## 活動報告書

- 活動名：稲刈り・収穫祭・閉講式
- 活動のめあて（目的、目標）：
  - （1）農業体験活動を通して、米作りについて理解を深め、農業の楽しさや苦労や工夫について知ることができる。
  - （2）米作りを通して、地域の一員としての自覚を高め、農業従事者との交流を深めることで、豊かな人間関係を養う。
  - （3）自然と一体となって活動することによって、自分の住む地域のよさに気づくことができる。
- 日 時：平成27年10月19日（月） 10：20～11：30
- 天 気：晴れ
- 場 所：小学校西側水田（岩崎敬忠さま所有地）
- 当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員等		3名
小学校教諭		6名
児童		47名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）	○	5名
田んぼ・畑の学校応援団		約10名

●当日の活動場所見取り図



●事前準備

前日までの準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
なし	
当日の準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
田んぼの学校旗を掲揚した。	

●準備物一覧

準備物	参考画像
「田んぼの学校」の旗掲揚ポール ポール支持用単管	

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
10:20	各学年毎に学習田に移動。	
10:25	開校式	
10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堀内校長先生あいさつ</li> <li>・稲刈りについてのお話（岩崎敬忠さん）</li> <li>・指導してくれる農業名人の紹介 岩崎敬忠さん、星嘉男さん、渡辺健治さんの三農家。</li> </ul>	

		
<p>10:40</p>	<p>各学年毎に受け持ちの区画を決めて稲刈り開始。</p>	
<p>11:25</p>	<p>閉講式 校長あいさつ 武藤主幹あいさつ「来年は田んぼの多面的機能などいろいろな学習してもらいたい」</p>	
<p>11:30</p>	<p>父兄から新米のおにぎりが供されみんなでおいしく頂いた。</p>	

●活動の成果・効果

活動の成果	<p>1年生～6年生まで同じく鎌を使って稲刈りをした。初めて経験する児童も多く、初めは手元がおぼつかない所も見られたが、徐々に子どもたちも慣れてきて、後半からは、作業もスムーズにできるようになった。慣れてくると稲を上手に束ねる姿も見られた。たくさんの方々の協力もあり事故なく終了できた。それでも、田んぼの半分ほどの稲が残ってしまったが、行事終了後に岩崎さん達がコンバインで刈り取りをした。農業機械のすごさも実感していた。</p>
児童の感想	<p>最初は、結構上手に刈り取ることができたので楽しく稲を刈っていました。作業しているうちに腰をかがめて作業していたので腰が痛くなりました。「昔の農家の人たちは大変な作業をしていたんだなあ」と思いました。田植えを経験してみて農家の人々の苦労が少し分りました。今度は米作りの工夫についても調べてみたいです。</p>
小学校の感想	<p>低学年児童を含め、鎌を使った刈り取りが安全にできて貴重な体験ができた。高学年の児童は、これまでの生長の様子を振り返りながら、感慨深げに刈り取り作業に取り組んでいた。農家の人々の苦労や育てることの大変さを断片的ではあるが全校生で体験できたことは、大変貴重な経験となった。</p>
地元農家の感想	<p>家庭でも経験している児童が意外に多かったのに驚いた。 コメが出来るまでの様々な作業過程を体験することで食べ物のありがたみを感じてくれたら嬉しい。</p>